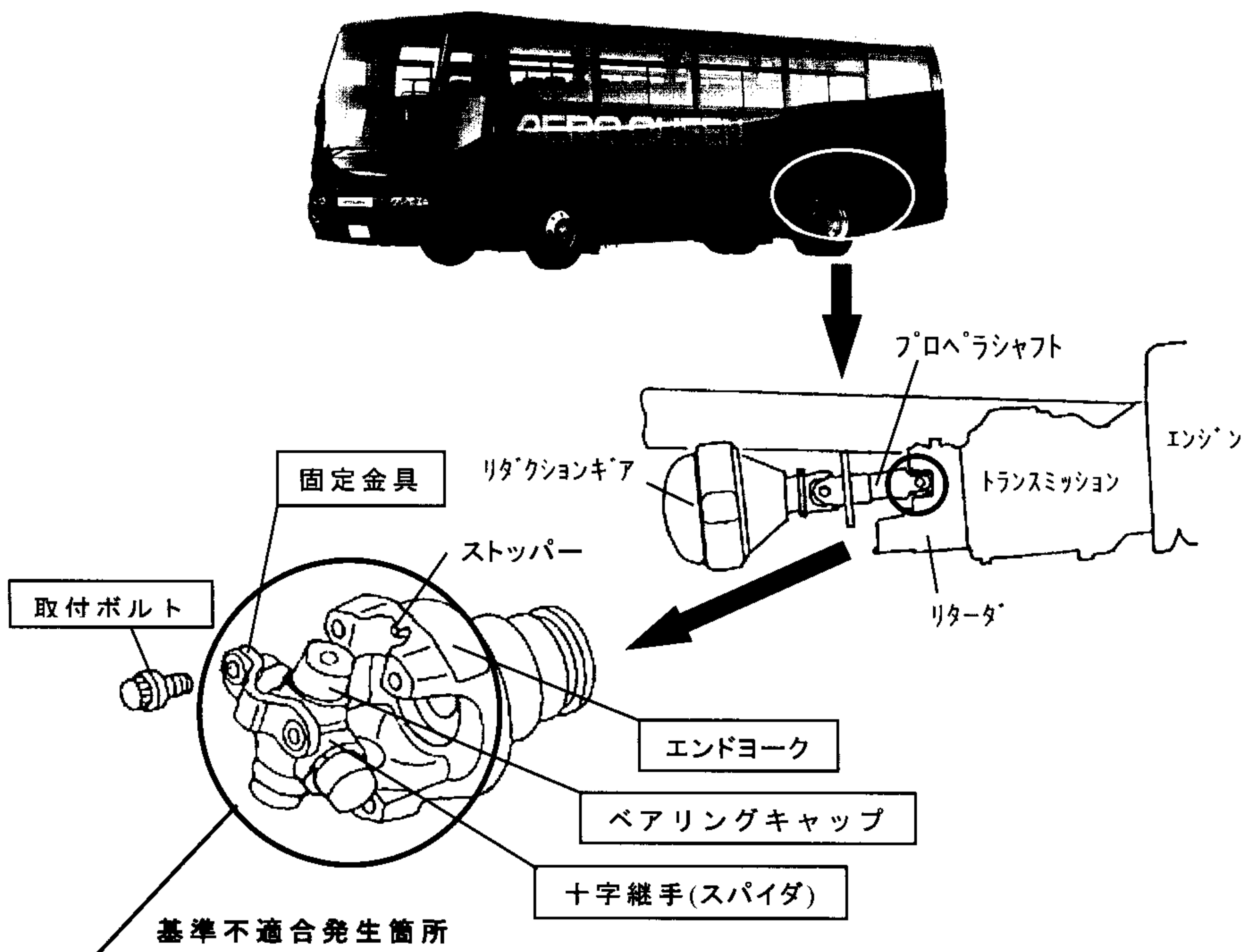


改善箇所説明図



流体式リターダ(補助制動装置)を装着した大型バスにおいて、プロペラシャフト接続部(エンドヨーク)の構造が不適切なため、エンドヨークに設けてある十字継手(スパイダ)のベアリング抜け出し防止用のストッパーが発進停止の繰り返しにより摩耗する、又はプロペラシャフト組立て時に損傷する場合がある。
 そのため、そのままの状態で使用を続けると、ベアリングにガタを生じてプロペラシャフトが過大に振動し、最悪の場合、ベアリング固定金具又は取付ボルトが折損して、プロペラシャフトが脱落するおそれがある。

改善の内容

全車両、エンドヨークとスパイダー式を対策品と交換する。
 なお、対策品の全数供給に時間を要するため、当面の暫定処置として当該ベアリング部のガタを点検し、整備基準値を越えるものは対策品と交換し、整備基準内の車両は後日対策品と交換する。

注 : □ は、交換部品を示す。

識別 : 対策品への交換作業実施済み車両に対しては対策作業完了の白色シールを右後部点検リッド内右上隅部付近に貼り付ける。